

TEAC

第66期 報告書

2013年4月1日～2014年3月31日



ティアック株式会社

証券コード：6803



代表取締役社長

英 裕治

Hanabusa Yuji

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2014年3月31日をもちまして、第66期（2013年4月1日から2014年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当期業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景として円高是正や株価上昇が進み、景気は緩やかに回復してきました。一方、世界経済は、中国やその他新興国経済の先行き不安があるものの、米国では個人消費や住宅市況の改善、

欧州も脆弱ながらも持ち直しの動きが見られ、全体的には緩やかな回復が続きました。

このような状況の中、当社グループは前期において光ディスクドライブ事業の改革を終え、業績の安定化から成長への転換期という折り返し点にあり、人的投資を成長分野へシフトしておりますが、まだその成果を十分に得られる状況には至っておりません。

当連結会計年度の業績につきましては、連結売上高は224億4千4百万円（前期比0.9%増）と僅かに増収となりましたが、円安等の影響で売上原価及び販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は3億9千5百万円（前期比42.9%減）、経常利益は3千万円（前期比91.4%減）と減益となりました。

また、米国子会社において不動産売却益を計上したものの、同子会社における固定費削減のための特別退職金の計上、マレーシアの不動産に対する減損損失の計上、及び繰延税金資産の取崩し等により、当期純損失は2億4千8百万円（前期当期純損失3億2千3百万円）となりました。

なお、当連結会計年度は財務施策としてキャッシュ・フロー改善のため在庫削減及び有利子負債の削減に努めた結果、前期と比較して営業キャッシュ・フローは改善し、実質有利子負債もゼロとなりました。

以上のような状況をうけまして、当連結会計年度におきましては、今後の事業展開、内部留保の充実を図るため、誠に遺憾ながら、配当を見送らせていただくことといたします。

株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

次期の業績見通しについて

音響機器事業は、オンキヨー株式会社との提携効果に加え、Gibson Brands, Inc. との提携や米国販社の構造改革が通年効果として発現することで増収増益を見込みます。

情報機器事業は、通話録音機器（ボイスロギング事業）等の事業譲渡により減収となる見込みですが、航空機搭載用記録再生機器、計測機器及び医用画像記録機器は、引き続き順調に推移すると見込まれます。

全社収益は、減収ではあるものの増益を見込んでおり、2015年3月期の連結売上高は215億円、営業利益6億円、経常利益2億5千万円、当期純利益1億円を予想しております。

全グループ社員一丸となって次期の業績見通しの達成に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月

連結業績ハイライト

		第63期 2011年3月期	第64期 2012年3月期	第65期 2013年3月期	第66期 2014年3月期
売上高	(百万円)	36,867	26,696	22,236	22,444
営業利益	(百万円)	1,003	338	693	395
経常利益	(百万円)	348	19	351	30
当期純利益	(百万円)	△ 1,303	89	△ 323	△ 248
1株当たり当期純利益	(円)	△ 4.52	0.31	△ 1.12	△ 0.86
総資産	(百万円)	21,289	19,637	19,619	17,582
純資産	(百万円)	3,824	3,790	4,243	3,678

セグメント別売上高及び構成比率

音響機器事業

59.7%

売上高 13,391 百万円
(前期比 6.1%増)

- 高級 AV 機器
- 一般 AV 機器
- 音楽制作オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC

TEAC

TASCAM

情報機器事業

33.3%

売上高 7,470 百万円
(前期比 11.8%減)

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録機器
- 計測機器
トランスデューサー
データレコーダー
- 通話録音機器
- ソリューションビジネス
- 介護支援個別ケアシステム
- ディスクパブリッシング機器
- 民生用 及び
産業用製品向けドライブ

オリジナルブランド

TEAC

売上高
22,444 百万円

前期比
0.9%増

その他事業

7.0%

売上高 1,582 百万円
(前期比 37.8%増)

- EMS 事業

音響機器事業

TEAC



PCオーディオ製品

Reference 501 シリーズ プリメインアンプ

売上高 13,391 百万円
(前期比 6.1%増)

営業利益 217 百万円
(前期比 80.1%減)

高級AV機器（ESOTERICブランド）は、フラッグシップとなるグランディオーツシリーズが好評を博したことに加え、消費税増税前の駆け込み需要もあり、高額輸入品ともども売上が伸張しました。

一般AV機器（TEACブランド）は、引き続き日本国内やアジアを中心にPCオーディオ製品の販売が好調に推移し、加えて2014年3月に販売を開始したポータブルヘッドホンアンプも好評を博しました。

音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）は、デジタル一眼レフカメラ用リニアPCMレコーダーの販売が欧米を中心に伸張し、また、日本を中心に設備音響機器が堅調に推移しましたが、前期と比較して放送局向け機器の特需がなかったこと、米国市場が全般的に不振であったこと及び音楽制作オーディオ機器を主要事業と位置づけ、人的投資をより集中したことなどにより、前期と比較して減益となりました。

情報機器事業

TEAC



医用画像記録機器

ハイビジョン対応 静止画 / 動画レコーダー

売上高 7,470 百万円
(前期比 11.8%減)

営業利益 107 百万円
(前期営業損失△ 431 百万円)

航空機搭載記録再生機器は、製品及び保守パーツともに好調に推移し、前期と比較して増益となりました。

計測機器は、新型データレコーダー（WX-7000）の海外販売は伸び悩みましたが、国内では鉄道関連、タービン測定関連向けの大型案件の受注などにより好調に推移し、前期比では増益となりました。センサーは新型のデジタル指示計が好評価を得て堅調に推移しました。

医用画像記録機器はHD画像記録用の新製品が好調でしたがOEM販売の落ち込みを挽回するには至らず減収減益となり、通話録音機器はプロジェクトの期ずれで減収となりました。ソリューションビジネスはPC入替え特需の影響もあり増収増益となりました。

光ディスクドライブは、PC向けOEM販売から撤退したことにより売上高は減少しましたが、市場の変化を受けにくく、利益率の高い産業用ドライブ販売に注力したこと及び販売費及び一般管理費の大幅削減により黒字となりました。

この結果、情報機器事業全体では、前期と比較して減収となりましたが、営業黒字となりました。

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当期 2014年3月31日現在	前期 2013年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	13,092	15,001
現金及び預金	3,180	4,422
受取手形及び売掛金	5,507	5,252
商品及び製品	2,635	3,381
原材料及び貯蔵品	1,165	1,262
前払費用	259	244
繰延税金資産	34	356
その他	375	180
貸倒引当金	△ 66	△ 98
固定資産	4,490	4,618
有形固定資産	2,504	2,613
無形固定資産	551	426
投資その他の資産	1,434	1,578
資産合計	17,582	19,619

	当期 2014年3月31日現在	前期 2013年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	5,968	8,265
支払手形及び買掛金	1,461	1,521
短期借入金	2,200	4,468
1年内返済予定の長期借入金	83	30
リース債務	59	30
未払金	297	287
未払費用	1,094	1,200
未払法人税等	61	45
繰延税金負債	5	2
賞与引当金	242	252
製品保証引当金	146	163
返品調整引当金	97	95
その他	217	167
固定負債	7,935	7,110
負債合計	13,904	15,375
■ 純資産の部		
株主資本	7,908	8,134
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	306	306
利益剰余金	1,711	1,935
自己株式	△ 109	△ 107
その他の包括利益累計額	△ 4,291	△ 3,949
少数株主持分	61	58
純資産合計	3,678	4,243
負債及び純資産合計	17,582	19,619

Point 1 連結貸借対照表

＜総資産＞ 有利子負債の返済に伴う現金及び預金の減少、在庫削減による商品及び製品の減少等により流動資産が減少し、総資産は前期末に比べ10.4%減となりました。

＜純資産＞ 為替の円安に伴う為替換算調整勘定の増加がありました。退職給付に係る調整累計額の計上によりその他の包括利益累計額の減少、当期純損失の計上等による利益剰余金の減少があり、前期末に比べ13.3%減となりました。

Point 2 連結損益計算書

＜当期純利益＞

米子会社において不動産売却益を計上したものの、固定費削減のための特別退職金の計上、マレーシアの不動産に対する減損損失の計上、及び繰延税金資産の取崩し等により、当期純損失248百万円を計上いたしました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当期における主な内訳は、プラス要因としてたな卸資産の減少額1,053百万円であり、営業活動によるキャッシュ・フローは366百万円のプラスとなりました。

連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当期	前期
	2013年4月1日～ 2014年3月31日	2012年4月1日～ 2013年3月31日
売上高	22,444	22,236
売上原価	13,088	12,772
売上総利益	9,355	9,463
販売費及び一般管理費	8,960	8,770
営業利益	395	693
営業外収益	109	131
営業外費用	475	473
経常利益	30	351
特別利益	866	440
特別損失	708	609
税金等調整前当期純利益	188	182
法人税、住民税及び事業税	136	115
過年度法人税等	—	16
法人税等調整額	297	370
少数株主損益調整前 当期純損失 (△)	△ 245	△ 320
少数株主利益	3	2
当期純損失 (△)	△ 248	△ 323

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当期	前期
	2013年4月1日～ 2014年3月31日	2012年4月1日～ 2013年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	366	△ 769
投資活動による キャッシュ・フロー	1,490	△ 329
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,455	264
現金及び現金同等物に 係る換算差額	166	261
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 432	△ 572
現金及び現金同等物 期首残高	3,608	4,181
現金及び現金同等物 期末残高	3,175	3,608

連結株主資本等変動計算書 (2013年4月1日～2014年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数 株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	6,000	306	1,935	△ 107	8,134	50	△ 4,000	—	△ 3,949	58	4,243
当期変動額											
当期純損失 (△)			△ 248		△ 248						△ 248
持分法の適用範囲の変動			24		24						24
自己株式の取得				△ 1	△ 1						△ 1
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						△ 10	531	△ 862	△ 341	3	△ 338
当期変動額合計	—	—	△ 224	△ 1	△ 225	△ 10	531	△ 862	△ 341	3	△ 564
当期末残高	6,000	306	1,711	△ 109	7,908	39	△ 3,468	△ 862	△ 4,291	61	3,678

貸借対照表 (要約) (当期 2014年3月31日 現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	8,783	流動負債	8,824
現金及び預金	2,026	支払手形	396
受取手形	383	買掛金	683
売掛金	4,762	短期借入金	6,463
商品	1,414	1年内返済予定の長期借入金	83
原材料	475	リース債務	30
前払費用	136	未払金	286
関係会社短期貸付金	234	未払費用	406
未収入金	615	未払法人税等	17
その他	11	前受金	5
貸倒引当金	△ 1,276	預り金	90
固定資産	12,992	賞与引当金	167
有形固定資産	1,837	製品保証引当金	80
無形固定資産	77	返品調整引当金	59
投資その他の資産	11,077	未払消費税等	49
資産合計	21,775	その他	3
		固定負債	6,617
		負債合計	15,442
		純資産の部	
		株主資本	6,293
		資本金	6,000
		資本剰余金	306
		利益剰余金	95
		自己株式	△ 109
		評価・換算差額等	39
		純資産合計	6,333
		負債及び純資産合計	21,775

損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当期 2013年4月1日~ 2014年3月31日
売上高	15,751
売上原価	9,481
返品調整引当金繰入額	5
売上総利益	6,264
販売費及び一般管理費	6,356
営業損失 (△)	△ 92
営業外収益	512
営業外費用	254
経常利益	165
特別利益	305
特別損失	531
税引前当期純損失 (△)	△ 60
法人税、住民税及び事業税	△ 18
法人税等調整額	102
当期純損失 (△)	△ 143

株主資本等変動計算書 (2013年4月1日~2014年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等 その他 有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 その他 資本剰余金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	自己株式			
当期首残高	6,000	306	239	△ 107	6,438	50	6,489
当期変動額							
当期純損失 (△)			△ 143		△ 143		△ 143
自己株式の取得				△ 1	△ 1		△ 1
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						△ 10	△ 10
当期変動額合計	—	—	△ 143	△ 1	△ 145	△ 10	△ 156
当期末残高	6,000	306	95	△ 109	6,293	39	6,333

ハイレゾ対応製品、順次発売開始

「ハイレゾ」とは「ハイレゾリューション（高解像度）」の略で、ハイレゾ音源は一般に音楽CDより高音質で記録された音楽データのことです。ハイレゾ対応製品として、大音量でもピュアなヘッドホンリスニングを楽しめるDAC搭載ポータブルヘッドホンアンプ『HA-P50』を2014年3月より、また、ネットワーク及びUSBフラッシュメモリーからハイレゾ音源の再生やインターネットラジオの再生も可能としたことでさまざまな音楽を楽しめる多機能なネットワーク/CDプレーヤー『CD-P800NT』を2014年5月より発売開始しました。



DAC搭載
ポータブルヘッドホンアンプ
『HA-P50』

ハイレゾ対応ネットワーク/CDプレーヤー
『CD-P800NT』

TEAC

優れたコストパフォーマンスで 高速処理を実現

TEAC

ひずみゲージ式トランスデューサーと組み合わせ、荷重・圧力・トルクなどの物理量を計測し表示する小型計装用指示計『TD-700T』を2013年11月より発売開始しました。小型・普及価格帯ながらカラー液晶を搭載し、高速処理により確度・信頼性の高い計測が実現できます。永年培った技術や最新技術を生かして環境対応した製品は、高速処理が求められる半導体製造装置や工作機械などで使用され日本のものづくりに貢献しています。



小型計装用デジタル指示計『TD-700T』

米国Cakewalk社製品の取扱い開始

TASCAM

PROFESSIONAL SOFTWARE

当社親会社Gibson Brands, Inc.による音楽制作ソフトウェアメーカー大手の米国Cakewalk, Inc.の株式取得に伴い、2014年1月より日本国内において当社がCakewalk社製品の輸入代理店となり、販売・流通及びカスタマーサポート業務を開始いたしました。Cakewalk社にて開発されたDAWソフトウェアSONARシリーズは、Gibson Brands社の新ブランド「TASCAM Professional Software」として販売することとなり、『X3シリーズ』を2014年1月より発売開始しました。



音楽制作ソフトウェア『SONAR X3シリーズ』

■ 会社の概要

商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目 47 番地
 設立 1953年8月26日
 資本金 60億円
 事業年度 4月1日～翌年3月31日
 代表者 代表取締役社長 英 裕治
 従業員数 単体 327名 連結 1,075名

国内拠点

ティアック株式会社

本社 [東京都]

EMC センター [埼玉県]

大阪営業所 [大阪府]

名古屋営業所 [三重県]

エソテリック株式会社 [東京都]

ティアック マニュファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]

MTS 株式会社 [埼玉県]

ティアック オンキヨー ソリューションズ株式会社 [東京都]

デジタル・アコースティック株式会社 [大阪府] ※持分法適用関連会社

海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]

TEAC MEXICO, S.A. de C.V. [メキシコ]

TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]

TEAC UK LTD. [英国]

TAIWAN TEAC CORPORATION [台湾]

TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]

TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]

DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

■ 役員 (2014年6月20日現在)

代表取締役社長 英 裕治
 取締役 野村 佳秀
 取締役 Henry E. Juskiewicz
 取締役 David Berryman
 取締役 Solomon Picciotto
 常勤監査役 牧野 信明
 監査役 原 琢己
 監査役 坂口 洋二

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

➡ 投資家向け情報



<http://www.teac.co.jp/>

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	289,317,134株
株主数	14,074名

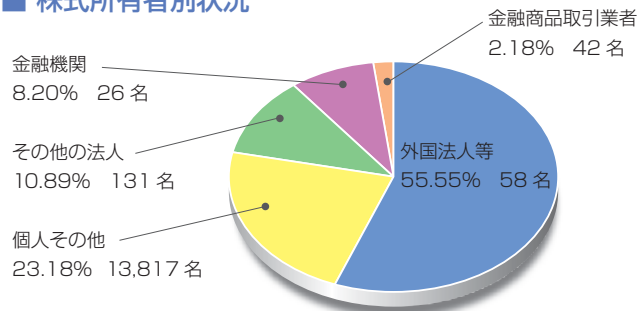
大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
Gibson Holdings, Inc.	157,447	54.42
オンキヨー株式会社	28,932	10.00
日本証券金融株式会社	6,480	2.23
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.18
森兼 満	2,470	0.85
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
明治安田生命保険相互会社	1,541	0.53
ティアック取引先持株会	1,499	0.51
株式会社損害保険ジャパン	1,342	0.46
株式会社相川プレス工業	1,240	0.42

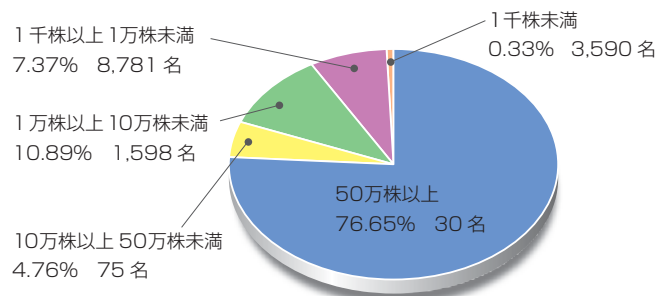
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
単元株式数	1,000株
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う。
公告掲載URL	http://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku.html (ただし、やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

株式所有者別状況



株式所有数別状況



【株式事務に関するご案内】

1. 各種お手続きのお問合せ窓口について

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

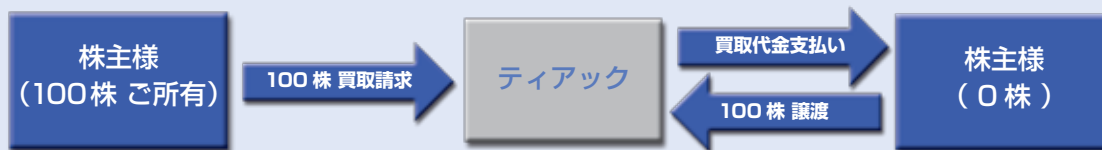
単元未満株式（1,000株に満たない株式）の買取請求のご案内

単元未満株式（1,000株に満たない株式）については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。

当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料（注）としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。

（注）無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

<例：株主様が100株をご所有の場合>



- 証券会社等の口座でご所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座でご所有の株主様（証券会社等にお取引口座がない株主様）
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（TEL 0120-232-711〈通話料無料〉）にお問合せください。

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。
- 記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100（代表）
ホームページアドレス <http://www.teac.co.jp/>

